

2017年 8月 5日発行 第142号

N.P.O.

Global SOROBAN Institute

Seminar Report

通称:N.P.O.法人 I.M. そろばんセミナーレポート

Think with SOROBAN



発行 N.P.O.法人 I.M.そろばん

～ も く じ ～

巻頭言	1
ヒロヤの独り言	3
研究集会のお知らせ	4
セミナーについて	5
検定試験について	8



巻頭言

山 滴る

関東以西は梅雨が明けたというのに、北陸、東北以北等全国各地で集中豪雨が続きました。例年になく梅雨の様子でした。

空梅雨であったという地方も多かったです。今夏以降の水不足が深刻です。逆に、大雨で深刻な被害が出たところもありました。带状降水帯という、耳慣れない言葉が幾度か出てきました。

带状降水帯が発生すると、同じようなところで、長時間、豪雨が続きます。そのせいで、多くの被害が発生しました。平成 29 年度九州北部豪雨災害はこの一つです。福岡大分両県で犠牲になられた各位のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

本年のような梅雨の様子は数年前より見受けられていました。空梅雨の地方と集中豪雨の地方が同時に起こる梅雨です。带状降水帯による豪雨が多くなってきました。もともと、带状降水帯は台風襲来時に起こることが多いものでした。それが今日では、台風と関係なく起こるようになりました。

この原因は、日本近海の海水温が 1℃以上上昇したことだということです。僅か 1℃です。それだけでこれほどの状況変化が起こるのです。信じられないです。しかし、平熱が 36.5℃の人が、病気になり 37.5℃に体温が上がると非常に辛いです。僅か 1℃でもこれほどの変化があるのですから、海水温の 1℃の変化を侮ることはできません。日本が亜熱帯化したという人もいます。

なぜこのような海水温の変化が起きたのだと言われれば、地球温暖化のせいであると多くの人が答えます。地球温暖化は人類が快適な生活を追い求めた結果起こっていることです。ですから、最近の豪雨と空梅雨が同時に起こる結果の災害は、人災なのです。その自覚をもって日々の暮らしを見直そうという人がほとんどいないのは、悲しいことです。

平成 29 年度九州北部豪雨災害で、特徴的なことがありました。豪雨のために増水した河川に、大量の流木が流れ込み、それらが橋の橋脚などで留まり、川が堰き止められました。その結果、それより上流が増水し、河川が氾濫したというものです。

上流で、大きな山崩れが発生し、多数の山の立木が一瞬になぎ倒され、谷へ崩れ落ち、川になだれ込み、下流へと流れていったのです。その辺りの山は、地盤の上に花崗岩質の土壌で表層は成り立っています。何年か前に、台風がこの辺りを通過した時も、山の崩落が起こり、多くの立木がなぎ倒されたということがありました。

この辺りは、何十年か前に全山皆伐し、その跡に、人間に都合の良い針葉樹を一斉に植えたところです。花崗岩質の土壌はもろいものです。そのようなもので表層が覆われていたところを、人間の勝手に、全山皆伐して、もともとの地方の生態系に馴染んでいなかった、人間に都合の良い針葉樹を植えた山だったのです。

その地方の生態系にあったもともとの樹木を、山の土壌の特性を考えて、間引きするように、ところどころを徐々に伐採して、そのあとに、その生態系にあった樹木を植えて

おくという林業をしておれば、今回のような大規模な山の崩落は起こらなかった可能性が強かったのです。

ですから、今回の豪雨災害の結果発生した洪水は、人災であったと考えることが出来るのです。過去の台風通過時の山の崩壊を、真摯に受け止めて、対策を講じておれば防げたかもしれないのです。多くの人命が失われたのです。愚かなことをしたものです。

快適な生活を送ることに慣れてしまった人間が、自然の現実の姿を見なくなった結果起こった災害であると言えます。私たちは、快適さを追求するために人工的につくられた都会に住んでいます。しかし、けっして都会だけで生きていけるではありません。周りを取り囲んでいる自然が、地球の大循環を守ってくれているから、都会は存続し続けることが叶うのです。快適な都会だけで生き続けられると考えるのは、人類のおもいあがりです。

以前にも申し上げましたが(2012.10.)、自然というのは人間が天然に手を加えて作り上げたものです。常に、地球の大循環から外れないように、手を加え続けなければならないのです。自然から絶対に目を離してはいけません。

“山笑う”という言葉があります(2013.4.)。11C 中国北宋の山水画家郭熙の言葉です。これは春の山の自然を見ていった言葉です。夏は山滴る、秋は山粧う、冬は山眠る、と四季の山を評しています。“夏山は蒼翠として滴るが如し” 夏山の樹木は、太陽の光をあびてしっかりと生い茂り、木々から自然の恵みが滴り落ちているようだということなのでしょう。四季折々の山の自然を眺めて、このような言葉を残しているのです。常に自然を眺めながら生活を送っていたのでしょうか。千年前から、語り継がれてきた言葉です。そして、地球の大循環に外れない生活をしてきたのです。

私たちも、四季のある豊かな自然に抱かれた日本で生活をしています。この自然のお蔭で生き続けさせてもらっているのです。都会に住んでいても四季の変化は感じられます。暑い、寒いといったことは、いやでも知らされます。しかし、街路樹の様子をじっくり眺めるだけでも、四季の変化は感じる事が出来ます。様々な情報が四季の変化を伝えてくれますが、自らの五感で感じた季節の変化を、常に、しっかりと感じて欲しいです。

季節の変化は、私たちの生活に最も強く影響する自然の変化です。その自然の変化を感じたら、それは当たり前だと思わないで、まず、感動してほしいです。そして、“なぜ”や“すごい”といった気持ちを持ってほしいです。なぜ季節が来ると花は咲くのだろうか。歩道のアスファルトの隙間からたくましく生えてくる草花を見て、すごいなと思うことも必要なのではないのでしょうか。

“なぜ”や“すごい”を解決するために、いろいろな情報を検索する前に、知恵を駆使してじっくりと考えてみてください。そして、いくら文明が進化しても、私たちの生活に大きな影響を与えている自然の変化を、常に、もっと身近に感じて欲しいです。

多くの人が、自らの力で知恵を働かせて自然を観察し続けてきていたのなら、多くの人災を防ぐことが出来たはずです。それに気づくべきではないでしょうか。

理事長 荒木 光(京都教育大学名誉教授)

<http://plaza.rakuten.co.jp/honkideeco>

(2017.8.)

ヒロヤの 独り言

—エミール君 ルネ君 ありがとう—

総会に於いて、エミール兄弟の講演を聴いている中で、“私が日頃先生方と良く似た話をしてたな”と聞き取った。

日本的にいうと、そろばんを習っている生徒とそうでない生徒との大きな違いは、そろばんを習った子は、集中力・忍耐力・持続力・計算力が優れているということだ。私もその特徴を、我が子に指導し、その力を認めたと為にはハワイへ教室を出すこととなった。その後、ハワイでの結果を以て I.M. の指導法を日本で「I.M. セミナー」として開催した。

どうあれ I.M. の指導法に於いては「そうです、そうです」と同意の表意は見えるが今、少し不満をも感じていたわけです。

しかしこの度、息子のごとく思われる彼らが、自分自身のそろばん学習法から観る見方でプリンストン大学へ進み、カリフォルニア工科大学大学院へ進む道筋に於いて得たそのあり方の素晴らしさを証明してくれたわけであった。

日本的な表現でそろばんを紹介するところをアメリカ的に判断すると、計算力・説明力・工夫力・判断力・社交性と表現すると言うのは実にアメリカ的である。特に数学を解説するに工夫力はそろばんを数学で捉えるということである。まだある。

これは私が観た「十段を取得する彼等」が、そろばんと学習は相互関係にあつて、そこに生じる事柄全体は合わせ鏡のように聞こえ、見えた。

講演に於いて、エミール兄弟の話しの内容を聴いている中で、私が日頃先生方にお話ししている事と良く似た話を聞いたと思うのは、空耳と思われるだろうか。

これは、上記の講演を聞くにあたり、彼とそれとなく打合せをしていた話しの内部的なもののことである。

荒木 碩哉

第16回I.M.そろばん研究集会

<開催要項>

～秋田県仙北市立角館中学校 元校長が語る～

「なぜ秋田県の学力はトップを行くのか？」

開催日：平成29年10月8日（日）～9日（月・祝）

会場：花葉館（秋田県仙北市角館町西長野古米沢30-19）

参加費：53,000円（会員外55,000円）

（東京～角館までの交通費・一泊三食付き・研修費・バス代）

※乗車券は最寄りの駅からの申込が出来ます。

集合場所：JR角館駅

集合時間：12:00

申込締切：9月10日（日）

その他の詳細は9月セミナーレポートにて発送致します。

申込の際は、参加費を事務局までお振込み下さい。

第16回開催担当：佐藤 信子
喜多 吉子

I.M. セミナー開催案内

I.M. 考えるそろばんは会員の先生方の勉強のための団体です。日頃生徒にそろばんを教えると自然に「知恵袋の知恵」がなくなります。知恵は先生の為にいつも満杯にしておかなければなりません。

月に1度、早起きをしてセミナーに出席し、知恵袋を満杯にしておきましょう！

セミナー受講料

午前9時～正午 ￥2,500 午前9時～午後3時 ￥4,000

教材費

Step 1～Step 10	各	￥245
Step 11	各	￥280
Step 12	各	￥300
Step 13～Step 20	各	￥350

※すでに教科書をお持ちの場合はそちらをご利用下さい。

※当日、別途実費申し受けます。

8月のセミナーは恒例によりお休みとさせていただきます。

～9月のセミナー開催日程～

9月18日(月) 香川県セミナー

子どもステーション

第2講座 IM公認講師 荒木 碩哉

9:00～12:00

解説 Step-3 10の合成分解
Step-4 たし算と九九 3と4の段
Step-5 5の合成分解
Step-6 たし算と九九 5と6の段

9月19日(火) 愛知県セミナー

川名珠算教室

第2講座 IM公認講師 荒木 碩哉

9:00～12:00

解説 Step-3 10の合成分解
Step-4 たし算と九九 3と4の段
Step-5 5の合成分解
Step-6 たし算と九九 5と6の段

9月20日(水) 兵庫県セミナー

学道そろばん

第3講座 IM公認講師 荒木 碩哉

9:00～12:00

解説 Step-7 5の合成分解と10の合成分解
Step-8 たし算と九九 7, 8, 9の段
Step-9 2桁上から借りる
Step-10 たし算と九九 10, 11, 12の段
Step-11 日本語と英語で正しく先生の前で読む

9月21日(木) 京都府セミナー

京都珠算連盟下京教場

第2講座 IM公認講師 荒木 光

9:00~12:00

解説 Step-3 10の合成分解
Step-4 たし算と九九 3と4の段
Step-5 5の合成分解
Step-6 たし算と九九 5と6の段

9月22日(金) 埼玉県セミナー

さいたま文化センター
(3F 第四集会室)

第4講座 IM公認講師 関根 由季

9:00~12:00

解説 Step-12 かけ算 1×2 、Step-12の加減算を日本語、英語で読ませる
Step-13 かけ算 1×4 、Step-13の加減算を日本語、英語で読ませる
Step-14 かけ算 2×2 、Step-14の加減算を日本語、英語で読ませる

以上

★ 会員の先生に於かれましては、セミナー予定を今一度確認の上、ご参加下さい。

～事務局だより～

今月よりセミナーレポートの企画・編集担当、10月よりホームページの担当が変わることになりました。これからは、ホームページもセミナーレポートも皆さんで利用していただけるよう、会員の為のページとして再出発します。ホームページの方では会員の先生の教室、住所の一覧、その他ホームページのURLを載せ、IMそろばんのホームページから、各教室のホームページにアクセスできるように考えております。会員の皆さんのご意見もいただき、より良いものを作っていきたいと思っております。なお、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせ下さい。

Think with SOROBAN

第46回考えるそろばん検定試験施行日は8月20日(日)です!

試験日 平成29年 8月20日(日) 全国 一斉
試験会場 IM会員教場・公共施設
申込期間 平成29年 8月3日(木)～8月10日(木)

申込方法 所定の申込み集計表に必要事項を記入の上、ファックスまたはEメールにてお申込みください。

IMそろばん検定部FAX: 0297-86-6033

Eメールアドレス: im-kentei@imsoroban.com

受験料 8月11日(金)までに下記口座にお振込みください。

NPO法人 IMそろばん検定部

ゆうちょ銀行10300-49758291

◆今回も申込集計表等一式を配布いたします。検定の日程を確認の上お申し込みください。

次の考えるそろばん検定試験日程

第47回	2017年10月22日(日)
第48回	2017年12月17日(日)
第49回	2018年 2月25日(日)
第50回	2018年 4月22日(日)
第51回	2018年 6月24日(日)

※検定試験の前には模擬問題練習が有効的です。

※検定試験問題見本のページは一通りご紹介させて頂きました。これからは是非模擬問題をお試し下さい。模擬問題はI.M.そろばん検定部、又は事務局へ電話・メールにてご用命下さい。

発 行	N.P.O.法人 I.M.そろばん
発 行 日	2017年 8月 5日
発 行 人	荒木 光
企画・編集	山本 琢也
発 行 所	〒274-0806 千葉県船橋市二和西6-17-17
TEL	047-449-7765
FAX	047-447-3893
	E-mail: im@imsoroban.com
	URL: http://www.imsoroban.com